magicolor® 2300 DL
NIC Reference Guide

magicolor® 2300 DL
NIC リファレンスガイド

1800684-014B

はじめに

弊社プリンタをお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 2300 DL は、Windows および TCP/IP ネットワーク環境でお使いいただくのに最適なプリンタです。

ユーザー登録について

プリンタ本体には、ユーザー登録カードが入っています。必要事項をご記入の上、弊社にご返送ください。

ユーザー登録の情報をもとに保証書を発行致しますので、かならずユーザー登録カードをご返送頂けますようお願いいたします。

弊社の Web からもユーザー登録をすることができます。

URL：http://www.minolta-qms.co.jp/Support/Userreg/index.html

登録商標および商標

QMS、MINOLTA-QMS ロゴおよび magicolor は、MINOLTA-QMS, Inc. の登録商標です。

Minolta はミノルタ株式会社の商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品は Peerless Systems Corporation の Software Developer Kit を使用しています。

本製品は Novell, Inc. の NEST Office SDK を使用しています。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、MINOLTA-QMS, Inc. に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へも MINOLTA-QMS, Inc. の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権は MINOLTA-QMS, Inc. に帰属します。書面による MINOLTA-QMS, Inc. の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

MINOLTA-QMS, Inc. は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、MINOLTA-QMS, Inc. は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

日本語

もくじ

1

Windows 環境でのプリンタの設置

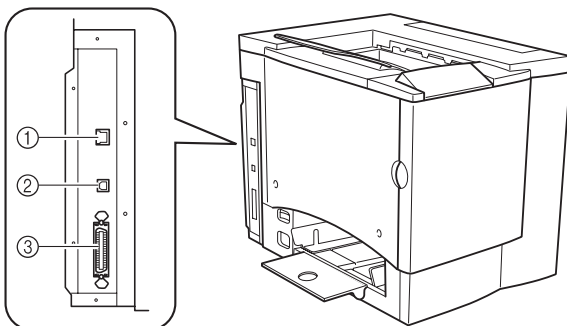
はじめに

本章では、Windows 環境でプリンタを設置する方法について説明します。プリンタをコンピュータに接続するには、ネットワーク接続（イーサネット接続）と、ローカル接続（パラレル接続または USB 接続）の 2 種類の方法があります。

日本語

インターフェースパネルについて

①イーサネット（Ethernet）ポート

ツイストペア線（RJ45）のイーサネットケーブルで、プリンタのイーサネットポートを 10Base-T/ 100Base-TX ネットワークに接続します。

② USB ポート

USB 1.1 対応ケーブル（タイプ B）で、プリンタの USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続します。

③パラレルポート

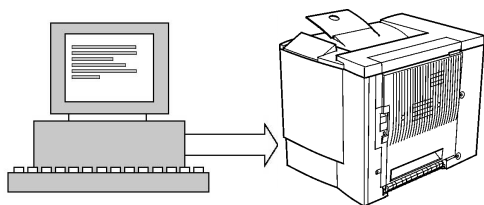
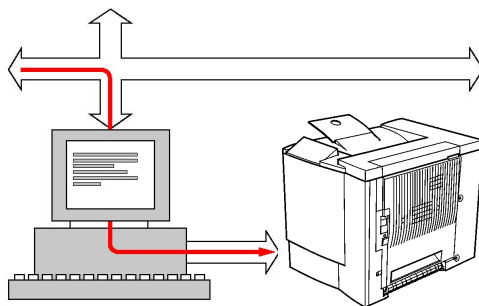
IEEE 1284 双方向パラレルケーブルで、プリンタのパラレルポートとコンピュータのパラレルポートを接続します。

ローカル接続

概念図

ローカル接続では、パラレルインターフェースまたはUSB インターフェースを使用して、コンピュータとプリンタを直接接続します。これらのインターフェースは 1 対 1 の接続にしか対応していないため、1 台のワークステーションのみがプリンタとの接続を独占することになります。

ローカル接続

ネットワーク環境によっては、ネットワーク内の他のコンピュータからでも、プリンタに直接接続されているコンピュータ経由で、プリンタを使用することができます。ただし、ネットワーク上の全ユーザがプリンタを使用できるかもしれませんが、印刷データが特定のコンピュータ（プリンタに直接接続しているコンピュータ）に送られるため、そのコンピュータで通常の作業を行うのに影響があるかもしれません。このような場合は、そのコンピュータをプリントサーバとしてのみ使用する必要があり、通常のコンピュータとしては使用できなくなります。

ネットワーク上で共有されたローカル接続

日本語

動作環境

	IEEE 1284 パラレル	USB
Windows XP	○	○
Windows Me	○	○
Windows 2000	○	○
Windows 98 SE	○	○
Windows 98	○	×
Windows 95	○	×
Windows NT 4.0	○	×
○：対応 ×：非対応		

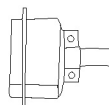
接続方法

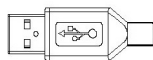
パラレル接続の場合

1 パラレルケーブルで、プリンタとコンピュータを接続します。

2 m 以下の長さのケーブルを使用してください。

2 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

3 メッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」と表示されたら、プリンタドライバをインストールします。

USB 接続の場合

お使いの OS が USB に対応しているか、USB デバイスドライバがすでにインストールされているかを確認してください（「スタート」メニューから「設定」－「コントロール パネル」－「システム」を選択し、「デバイス マネージャ」タブをクリックして確認できます）。

USB デバイスドライバは、Windows 2000/XP ではお使いの Windows の CD-ROM 内にあります。Windows 98/Me では、magicolor 2300 DL の Utilities and Documentation CD-ROM 内の「\drivers\japanese\win9x」フォルダにあります。

1 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

2 プリンタのメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ / MAGICOLOR 2300DL」と表示されたら、Utilities and Documentation CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

CD-ROM の自動インストールプログラムが自動的に起動します。

3 CD-ROM の自動インストールプログラムを終了します。

4 USB ケーブルの一方をコンピュータの USB ポートに接続し、もう一方をプリンタの USB ポートに接続します。

コンピュータのディスプレイに「新しいハードウェアの検出」メッセージが表示されます。

- Windows 98/Me をお使いの場合は、Utilities and Documentation CD-ROM の「\Drivers\Japanese\Win9x」を参照して USB デバイスドライバをインストールします。
- Windows 2000/XP をお使いの場合は､自動で USB デバイスドライバがインストールされます。

5 USB デバイスドライバのインストールが完了したら、プリンタの追加メッセージが表示されます。

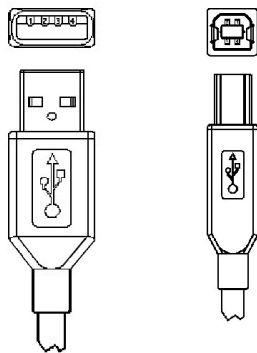
メッセージにしたがってプリンタドライバをインストールます。

- プリンタのモデルを選択する画面で、[ディスクを使用] をクリックし、Utilities and Documentation CD-ROM の「\Drivers\Japanese」フォルダより、お使いのオペレーティングシステムを選択してください。（Windows Me の場合は「Win9x」を選択してください。）

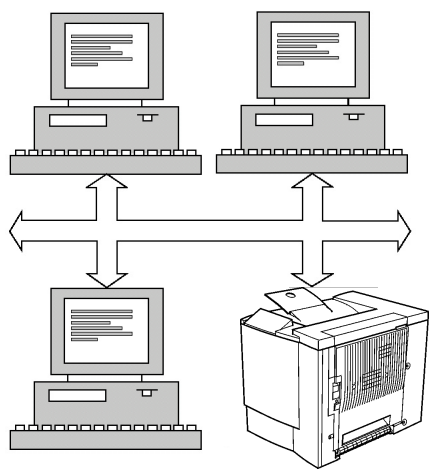
6 インストールが終了したら、CD-ROM を取り出し、大切に保管してください。

7 お使いのプリンタのオプション構成に合わせて、プリンタドライバの設定を行います。詳しくは、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

ネットワーク接続

日本語

概念図

プリンタを TCP/IP ネットワークに接続するには、内部ネットワークアドレスをプリンタに設定しておく必要があります。

多くの場合、他で使用されていない IP アドレスのみを入力します。ただし、ネットワーク環境によっては、サブネットマスク／ゲートウェイ（ルータ）アドレスも入力する必要があります。

動作環境

	TCP/IP
Windows XP	○
Windows Me	○
Windows 2000	○
Windows 98 SE	○
Windows 98	○
Windows 95	○
Windows NT 4.0	○
○：対応 ×：非対応	

接続方法

イーサネット接続の場合

標準イーサネットインターフェースは RJ45 コネクタで、伝送速度が 10 〜 100 メガビット／秒（Mbit/s）です。

プリンタをイーサネットネットワークに接続するときは、プリンタの IP（Internet Protocol）アドレスの設定方法によって、操作手順が異なります。プリンタの工場出荷時には、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが設定されています。

- IP アドレス：TCP/IP ネットワーク上で各デバイスを識別する固有の値
- サブネットマスク：IP アドレスが属するサブネットを判断するために使用されるフィルタ
- ゲートウェイ：サブネットを越えて通信する場合に最初に経由する、ネットワーク上のノード（機器）

ネットワーク上にある各コンピュータとプリンタの IP アドレスは固有のアドレスでなければならないため、通常プリンタの初期設定のアドレスを変更して、そのネットワークや周りのネットワーク上にある他の機器の IP アドレスとコンフリクト（競合）しないようにする必要があります。2 種類の方法のいずれかでその変更を行うことができます。それぞれの方法について、以下に詳しく説明します。

- DHCP を使用する場合
- アドレスを手動設定する場合

DHCP を使用する場合

お使いのネットワークで DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用している場合は、プリンタの電源をオンすると、DTCP サーバによってプリンタの IP アドレスが自動的に割り当てられます。（DHCP の説明については、第 5 章「ネットワーク印刷」を参照してください。）

プリンタの IP アドレスが自動的に設定されない場合は、プリンタの設定で DHCP が使用可能になっているかを確認してください（ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ / ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ）。DHCP が使用可能になっていない場合は、「ﾈｯﾄﾜｰｸ/DHCP/BOOTP」メニューで使用可能に設定できます。

1 プリンタをネットワークに接続します。

イーサネットケーブルのコネクタ（RJ45）を、プリンタのインターフェイスパネルのイーサネットポートに差し込んで、プリンタをネットワークに接続します。

2 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

3 プリンタのメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」と表示されたら、プリンタドライバをインストールします。

インターネットアドレスを手動設定する場合

以下の方法で、プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定変更することができます。（詳しくは、第 2 章「ネットワーク設定メニューについて」を参照してください。）

手動で IP を設定する場合は、はじめに DHCP セットと BOOTP セットの設定をオフにしてください。

ご注意

プリンタの IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワーク管理者に連絡してください。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは、DHCP と BOOTP 両方がオフ設定の時のみ表示されます。

1 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

2 プリンタのメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」と表示されたら、IP アドレスの設定を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ﾚﾃﾞｨ MAGICOLOR 2300DL
メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ｹﾞﾝｺﾞ
▶	ﾒﾆｭｰ ﾈｯﾄﾜｰｸ
メニュー 選択 ↵	IP ｱﾄﾞﾚｽ 192.168.1.2
メニュー 選択 ↵	IP ｱﾄﾞﾚｽ 192.168.1.2
◀、▶ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 （各 3 桁中の上位桁の 0 は表示されません。例えば、“ 001 ” は “ 1 ” と表示されます。） ▲、▼ キーを押して各桁の数値を増減させます。	

日本語

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
メニュー 選択 ↵	IP ｱﾄﾞﾚｽ xxx.xxx.xxx.xxx

3 サブネットマスクとゲートウェイを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

サブネットマスクを設定せずにゲートウェイを設定する場合は、手順 4 にすすんでください。

サブネットマスクを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▶	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 0.0.0.0
メニュー 選択 ↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 0.0.0.0
◀、▶ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 （各 3 桁中の上位桁の 0 は表示されません。例えば、“ 001 ” は “ 1 ” と表示されます。） ▲、▼ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
メニュー 選択 ↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ XXX.XXX.XXX.XXX

4 ゲートウェイを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

ゲートウェイを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▶	ｹﾞｰﾄｳｪｲ 192.168.1.1
メニュー 選択 ↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ 192.168.1.1
◀、▶ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 （各 3 桁中の上位桁の 0 は表示されません。例えば、“ 001 ” は “ 1 ” と表示されます。） ▲、▼ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
メニュー 選択 ↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ xxx.xxx.xxx.xxx

5 設定変更を保存し、プリンタを印刷可能な状態に戻します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▲	▲キーを 2 回押して、以下の表示に戻します。 ﾚﾃﾞｨ MAGICOLOR 2300DL

6 コンフィグレーションページを印刷し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ﾈｯﾄﾜｰｸ
▶	ﾒﾆｭｰ ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ
メニュー 選択 ↵	ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ
メニュー 選択 ↵	

7 プリンタのメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」と表示されたら、プリンタドライバをインストールします。

日本語

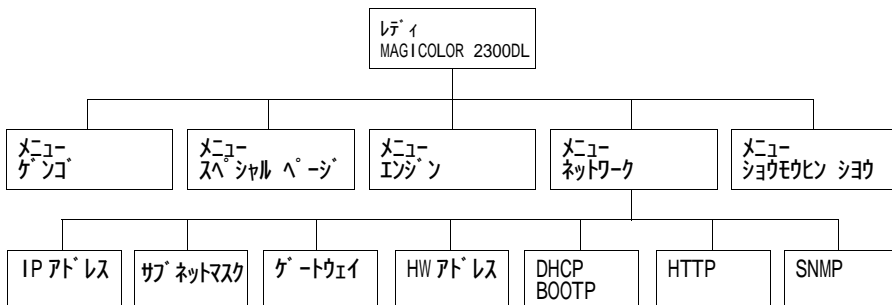
2

ネットワーク設定メニューについて

はじめに

本章では、ネットワークメニューの各項目についての詳細情報を説明します。

ネットワークメニュー

設定メニューの構成

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは DHCP と BOOTP 両方がオフ設定の時のみ表示されます。

ネットワークメニューの表示

プリンタで以下のキー操作を行い、プリンタのネットワークメニューの設定項目を表示します。このメニューでは、設定可能なネットワークの項目をすべて表示できます。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ﾚﾃﾞｨ MAGICOLOR 2300DL
メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ｹﾞﾝｺﾞ
▶	ﾒﾆｭｰ ﾈｯﾄﾜｰｸ
メニュー 選択 ↵	

ネットワークメニューの設定項目

プリンタがネットワーク接続されている場合は、以下の項目を設定する必要があります。各設定項目の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

手動で IP を設定する場合は、はじめに DHCP セットと BOOTP セットの設定をオフにしてください。

日本語

IP アドレス

目的	本プリンタのネットワーク上の IP アドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 ▲、▼キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◀、▶キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	192.168.1.2
備考	各 3 桁中の上位桁の 0 は表示されません。例えば、“ 001 ” は “ 1 ” と表示されます。

サブネットマスク

目的	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。サブネットマスクを使用して、プリンタを利用可能な範囲を制限することができます（例えば、部署ごとに範囲を設定できます）。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 ▲、▼キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◀、▶キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	0.0.0.0
備考	各 3 桁中の上位桁の 0 は表示されません。例えば、“ 001 ” は “ 1 ” と表示されます。
例	255.255.255.0

日本語

ゲートウェイ

目的	ネットワーク上にルータ／ゲートウェイがあり、サブネットを越えた先のネットワーク上のユーザからもプリンタを利用できるようにする場合に、ルータ／ゲートウェイのアドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 ▲、▼キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◀、▶キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	192.168.1.1
備考	各 3 桁中の上位桁の 0 は表示されません。例えば、“ 001 ” は “ 1 ” と表示されます。

HW アドレス

目的	本プリンタのイーサネットハードウェアアドレスを表示します。
設定値	設定不可
初期値	プリンタごとに異なります。

DHCP/BOOTP

目的	ネットワーク内に DHCP サーバまたは BOOTP サーバがある場合に、DHCP サーバまたは BOOTP サーバから自動的に IP アドレスを取得、また他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。
設定値	DHCP ｾｯﾄ：ｵﾝ BOOTP ｾｯﾄ：ｵﾌ DHCP ｾｯﾄ：ｵﾌ BOOTP ｾｯﾄ：ｵﾝ DHCP ｾｯﾄ：ｵﾌ BOOTP ｾｯﾄ：ｵﾌ
初期値	DHCP ｾｯﾄ：ｵﾝ、BOOTP ｾｯﾄ：ｵﾌ

HTTP

目的	プリンタ内部の Web ページを有効にするか無効にするかを設定します。（第 3 章「PageScope Light の使いかた」を参照してください。）
設定値	HTTP ｾｯﾄ：ｵﾌ、HTTP ｾｯﾄ：ｵﾝ
初期値	HTTP ｾｯﾄ：ｵﾝ
備考	これらの設定を有効にするには、プリンタの電源をオフ／オンしてください。

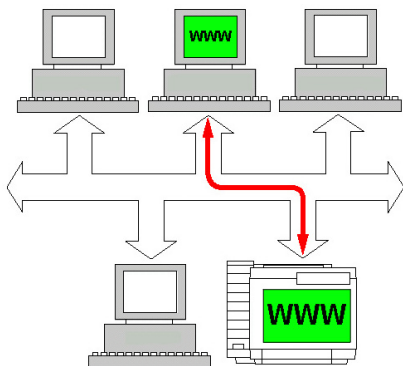
SNMP

目的	SNMP（Simple Network Management Protocol）を有効にするか無効にするかを設定します。SNMP は、小規模なネットワークから大規模なネットワークまでの管理に適した、拡張性の高い分散管理システムです。
設定値	SNMP ｾｯﾄ：ｵﾌ、SNMP ｾｯﾄ：ｵﾝ
初期値	SNMP ｾｯﾄ：ｵﾝ
備考	これらの設定を有効にするには、プリンタの電源をオフ／オンしてください。

PageScope Light の使いかた

はじめに

本章では、PageScope Light について説明します。PageScope Light は、プリンタに内蔵されている HTTP（Hyper-Text Transfer Protocol）ベースの Web ページで、Microsoft Internet Explorer または Netscape Navigator を使用してアクセスすることができます。

PageScope Light を使用すると、プリンタのステータス（状況）や、プリンタで頻繁に使用する設定内容をすぐに確認することができます。ネットワーク上の誰からでも、Web ブラウザを使用してプリンタにアクセスすることができます。また、パスワードを正しく入力すれば、そのコンピュータ上でプリンタの設定を変更することができます。

管理者からパスワードを知らされていないユーザは、設定内容を確認できますが、設定変更の保存や適用はできません。

動作環境

PageScope Light を使用するには、以下の環境が必要です。

- Windows XP/2000/Me/98/95/NT 4.0
- Microsoft Internet Explorer バージョン 5.0 以降　または Netscape Navigator バージョン 4.7 以降

  インターネットへの接続は必要ありません。

- お使いのコンピュータに TCP/IP 接続ソフトウェアがインストールされていること（PageScope Light で使用されます）
- お使いのコンピュータとプリンタの両方がネットワークに接続されていること

  ローカル接続（パラレル接続または USB 接続）の場合は、PageScope Light にアクセスできません。コンピュータとプリンタがパラレルケーブルまたは USB ケーブルで接続されている場合は、ステータスディスプレイを使用してください。

プリンタ内蔵 Web ページの設定

プリンタ内蔵 Web ページをネットワーク上で動作させるためには、以下の 2 つの基本的な操作で設定を行います。

1 プリンタの名前とアドレスを設定します。

2 Web ブラウザ上で「プロキシなし」の設定を行います。

プリンタ名の設定

プリンタの内蔵 Web ページには、以下の 2 種類の方法でアクセスできます。

■ プリンタに割り当てられた名前を使用する方法

プリンタ名はコンピュータ内の IP ホストテーブル（ファイル名は " hosts "）で設定されており、通常システム管理者によって割り当てられます（例：magicolor 2300 DL）。IP アドレスよりもプリンタ名を使用する方が扱いやすい場合もあります。

コンピュータ内のホストテーブルファイルの場所

- Windows XP \windows\system32\drivers\etc\hosts
- Windows Me/2000/9x \windows\hosts
- Windows NT 4.0 \winnt\system32\drivers\etc\hosts

■ プリンタの IP アドレスを使用する方法

プリンタの IP アドレスは固有の番号であるため、特にネットワーク上で多くのプリンタが動作している場合は、入力する値として識別しやすい場合があります。プリンタの IP アドレスは、コンフィグレーションページに記載されています。

プリンタの設定メニュー内のコンフィグレーションページの場所

- 「ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ / ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ」メニュー

Web ブラウザの設定

プリンタはイントラネット上にあり、ネットワークのファイアウォールを越えてはアクセスできないため、お使いの Web ブラウザで正しく設定を行う必要があります。Web ブラウザの設定ダイアログの「プロキシなし」のリストにプリンタの名前または IP アドレスを追加する必要があります。

この操作は一度だけ行えば、それ以降は必要ありません。

以下に記載しているサンプル画面は、ソフトウェアのバージョンや使用している OS によって異なる場合があります。

日本語

ここでの例では、プリンタの IP **アドレスの部分を「**xxx.xxx.xxx.xxx**」と表しています。必ず上位桁の** 0 **を入れずにお使いのプリンタの** IP **アドレスを入力してください。例えば、**131.011.010.001 **の場合は** 131.11.10.1 **として入力します。**

Internet Explorer（バージョン 6.0）

1 Internet Explorer **を起動します。**

2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選択します。

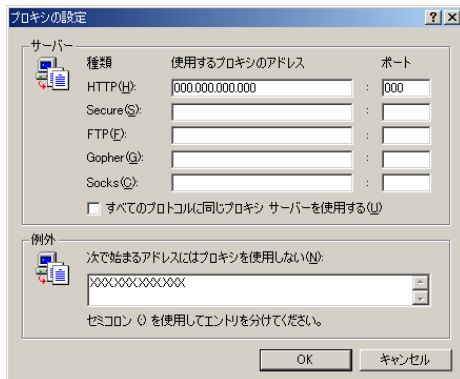
3 ダイアログの「接続」タブをクリックします。

4 ［LAN の設定］ボタンをクリックして、ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定ダイアログを表示します。

5 ［詳細設定］ボタンをクリックして、プロキシの設定ダイアログを表示します。

6 「例外」テキストボックスに、最後のエントリの後にセミコロンを入力してから、お使いのプリンタの名前または IP **アドレスを入力します。**

7 ［OK］を 3 **回クリックして、**Web **ブラウザのメインウィンドウに戻ります。**

8 URL **入力ボックスにプリンタの** IP **アドレスを入力して、プリンタの** Web **ページにアクセスします。**

Netscape Navigator（バージョン 6.2）

1 Netscape Navigator **を起動します。**

2 **「編集」メニューから「設定」を選択します。**

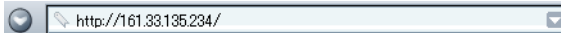
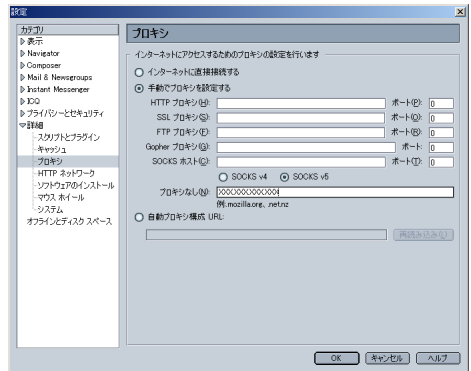
3 **ダイアログの左側の欄から「詳細／プロキシ」ディレクトリを選択します。**

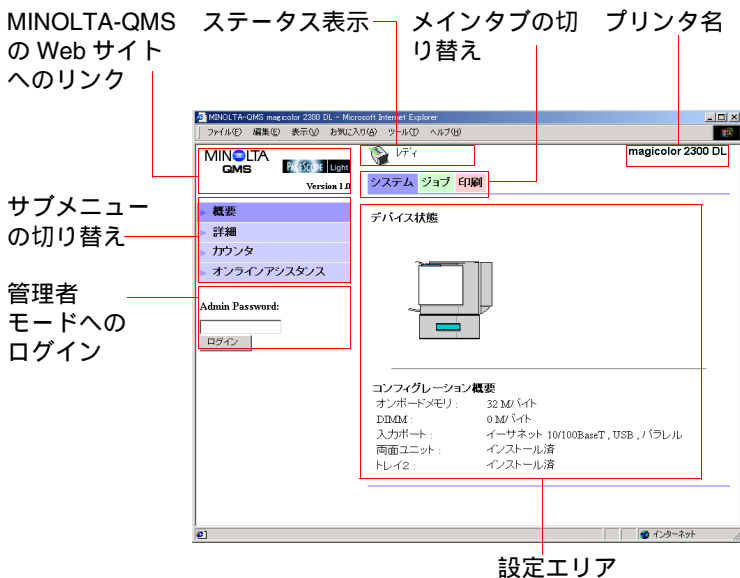
4 **「手動でプロキシを設定する」を選択します。**

5 **「プロキシなし」テキストボックスに、最後のエントリの後にコンマを入力してから、お使いのプリンタの名前または** IP **アドレスを入力します。**

6 [OK] **を何回かクリックして、**Web **ブラウザのメインウィンドウに戻ります。**

7 URL **入力ボックスにプリンタの名前または** IP **アドレスを入力して、プリンタの** Web **ページにアクセスします。**

日本語

PageScope Light ウィンドウについて

以下の画面図では、PageScope Light ウィンドウ内をナビゲーションエリアと設定エリアに分けて説明しています。

操作方法

メインタブとサブメニューを選択すると、選択した設定項目が設定エリアに表示されます。

現在の設定を変更する場合は、現在設定されている値をクリックし、項目の選択や新しい値の入力を行います。

多くの設定項目では、直接値を入力できず、現在の設定値をクリックして表示されるドロップダウンリストから値を選択して設定を変更します。

設定変更の適用、保存を行うためには、設定エリアの左側のボックスに正しいパスワードを入力する必要があります。（「管理者モード」を参照してください。）

ステータス表示

プリンタの現在の状態（ステータス）は、PageScope Light ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明	例
	レディ	プリンタがオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。	ﾚﾃﾞｨ ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ
	注意	プリンタに注意が必要ですが、印刷は続行可能です。	ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼﾅｼ ｼｱﾝ ﾄﾅｰﾉｼﾞｭﾝﾋﾞ
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。	ﾄﾚｲ 1 ﾆ ﾖｳｼ ｾｯﾄ A4 ｼｱﾝ ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾄﾚｲ 1 ﾃﾞ ﾒﾃﾞｨｱｼﾞｬﾑ
	トラブル	プリンタを再起動する必要があります。再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要です。	AIDC ｾﾝｻｰ ｴﾗｰ SEVICE MAN CALL

ユーザモード

PageScope Light を表示すると、自動的にユーザモードの状態になっています。ユーザモードでは設定内容を確認できますが、設定の変更はできません。

管理者モード

PageScope Light 上で設定を変更する場合は、まず管理者モードに入る必要があります。

1 「Admin Password」ボックスにパスワードを入力します。

パスワードの初期設定は「1234」ですが、管理者モードに入り、「システム／パスワード」画面でこのパスワードを変更することができます。

2 ［ログイン］ボタンをクリックします。

間違ったパスワードを入力すると、「前の画面に戻って、正しいパスワードを入力してください。」というメッセージが表示されます。Web ブラウザの［戻る］ボタンをクリックして、パスワードを入力しなおしてください。

言語設定の切り替え

PageScope Light の表示言語の初期設定は「English」になっています。
以下の手順で表示言語を切り替えます。
（以下は、日本語表示への切り替え手順です。）

日本語

1 PageScope Light を起動します。

Web ブラウザでプリンタの IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

2 「Admin Password」ボックスにパスワードを入力し、［Login］ボタンをクリックします。

パスワードの初期設定は「1234」です。

3 「System」タブの「Browser」を選択します。

4 「Language」で「Japanese」を選択し、［Apply］をクリックします。

5 ［ログアウト］をクリックします。

プリンタのステータスの表示

システム画面

システム画面は、プリンタ内蔵の Web ページにアクセスしたときに最初に表示される画面です。この画面では、プリンタのステータス（状態）、現在のシステム構成、プリンタ名、他の設定画面へリンクされたタブやメニューが表示されます。

概要（上記画面）

「システム／概要」画面では、以下の情報を確認できます。

「システム／概要」画面内の情報はすべて表示されるのみで、変更はできません。

項目	説明
プリンタ名／ステータス	プリンタ名と現在のステータスが表示されます。ステータスアイコンの横には、プリンタの操作パネルのメッセージウィンドウに表示されるのと同じメッセージが表示されます。 ステータス表示によって、プリンタから離れた場所からでもプリンタで発生している問題（用紙切れやトナー切れなど）を確認することができます。

日本語

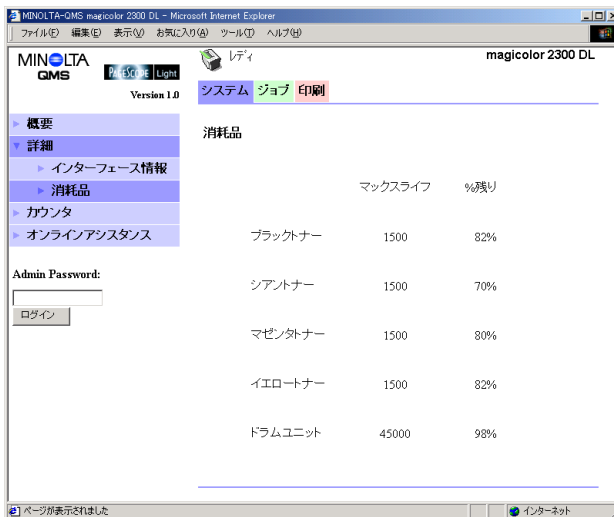
項目	説明
デバイス状態（プリンタの図）	アクセスしているプリンタのタイプを確認できます。プリンタの図は、装着されているオプションの状態が反映された表示になります。
オンボードメモリ	プリンタに装着されているメモリの量が表示されます。
DIMM	オプションの DIMM がプリンタに装着されている場合は、DIMM のサイズが表示されます（128 M バイトまたは 256 M バイト）。 オプションの DIMM がプリンタに装着されていない場合は、「0 M バイト」と表示されます。
入力ポート	プリンタに装備されているインターフェースが表示されます（イーサネット 10/100BaseT、USB、パラレル）。
両面ユニット	オプションの両面ユニットが装着されているかどうかが表示されます（インストール済、インストールなし）。
トレイ 2	オプションの給紙ユニット（トレイ 2）が装着されているかどうかが表示されます（インストール済、インストールなし）。

詳細

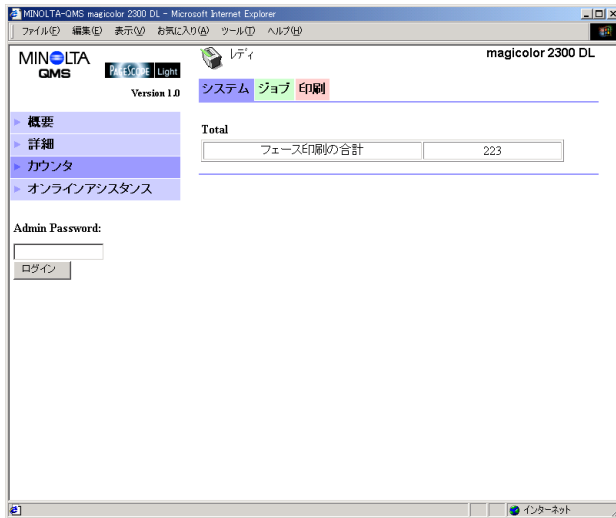
インターフェース情報（上記画面）

「システム／詳細／インターフェース情報」画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
ネットワーク I/F タイプ	プリンタに装着されているネットワークインターフェースの種類が表示されます（イーサネット 10/100BaseT）。
ネットワーク I/F IP アドレス	イーサネットインターフェースの IP アドレスが表示されます。 初期値：192.168.1.2
ネットワーク I/F サブネットマスク	イーサネットインターフェースのサブネットマスクが表示されます。 初期値：0.0.0.0
ネットワーク I/F ゲートウェイアドレス	イーサネットインターフェースのゲートウェイアドレスが表示されます。 初期値：192.168.1.1
ネットワーク I/F MAC アドレス	イーサネットインターフェースの MAC（Media Access Control）アドレスが表示されます。 初期値：プリンタごとに異なります。
ローカル I/F タイプ	プリンタに装備されているローカルインターフェースのタイプが表示されます（IEEE1284、USB）。

消耗品

「システム／詳細／消耗品」画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
消耗品	状況を確認できる消耗品が表示されます。
マックスライフ	各消耗品の最大寿命が、用紙の枚数で表示されます。
% 残り	各消耗品の残りの寿命が表示されます。

カウンタ

「システム／カウンタ」画面では、以下の情報を確認できます。

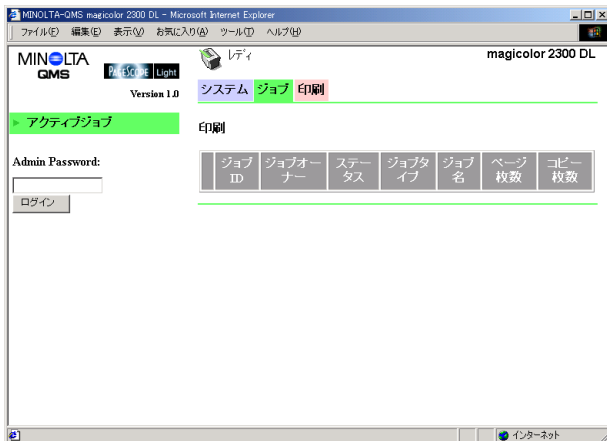
項目	説明
フェース印刷の合計	これまでに印刷されたフェース（用紙の片面）の累計数が表示されます。

オンラインアシスタンス

「システム／オンラインアシスタンス」画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
連絡先	プリンタに関する問い合わせ先が表示されます。
連絡先番号	問い合わせ先の Web サイトの URL が表示されます。
プロダクトヘルプ URL	製品情報が載っている Web サイトの URL が表示されます。
コーポレート URL	MINOLTA-QMS の Web サイトの URL が表示されます。
消耗品とアクセサリ	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の Web サイトの URL が表示されます。

ジョブ画面

この画面では、現在処理されているプリントジョブの状況を確認することができます。

アクティブジョブ（上記画面）

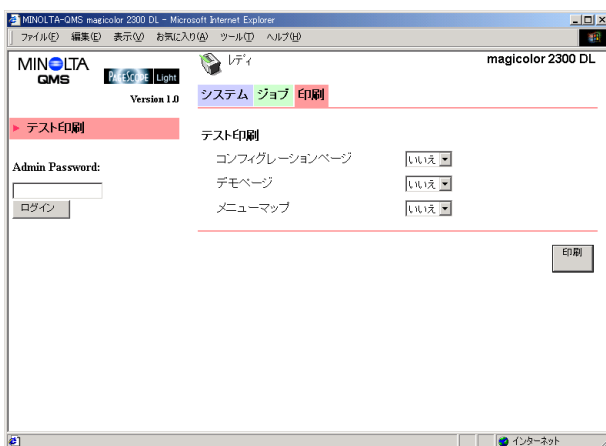
「ジョブ／アクティブジョブ」画面では、最大 10 個のプリントジョブの以下の情報を確認することができます。

項目	説明
ジョブ ID	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ジョブオーナー	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ステータス	プリントジョブの現在の状況（印刷中、プリントエラー、待機中）が表示されます。
ジョブタイプ	プリントジョブのタイプ（通常の印刷、IPP 印刷）が表示されます。IPP（Internet Printing Protocol）についての詳細は、第 5 章「ネットワーク印刷」を参照してください。
ジョブ名	プリントジョブのジョブ名が表示されます。
ページ枚数	プリントジョブで印刷されるページ数が表示されます。
コピー枚数	プリントジョブで設定されている印刷部数が表示されます。

項目	説明
［次へ］ボタン	印刷待ちのプリントジョブが 5 個以上ある場合は、［次へ］ボタンをクリックすると次ページが表示されます。
［前］ボタン	印刷待ちのプリントジョブが 5 個以上ある場合に次ページを表示したときは、［前］ボタンをクリックすると前のページに戻ります。
［選択ジョブの削除］ボタン	削除するプリントジョブのいちばん左側のチェックボックスをチェックして［選択ジョブの削除］ボタンをクリックすると、そのプリントジョブが削除されます。

日本語

印刷画面

印刷画面では、プリンタに関するさまざまな情報が記載されたページを印刷することができます。

テスト印刷（上記画面）

「印刷／テスト印刷」画面では、以下の情報を設定できます。

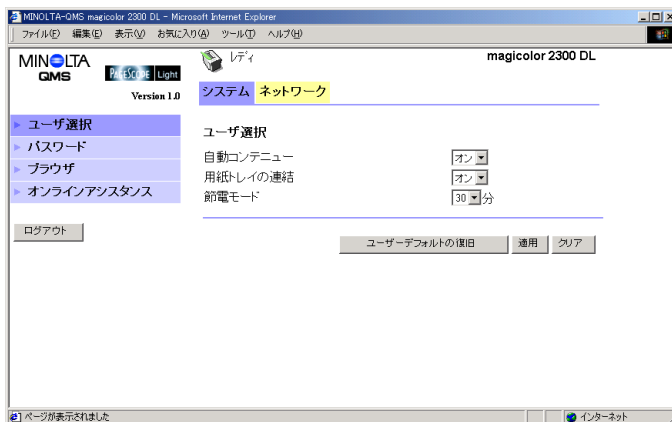
項目	説明
コンフィグレーションページ	プリンタの設定情報が記載されたコンフィグレーションページを印刷することができます。
デモページ	プリンタのデモページを印刷することができます（ROM にデモページのデータが内蔵されている場合）。
メニューマップ	プリンタの設定メニューが記載されたメニューマップを印刷することができます。（英語版のメニューのみ）
［印刷］ボタン	クリックすると、テスト印刷が実行されます。

プリンタの設定

PageScope Light を使用して設定変更を行うためには、まず管理者モードに入る必要があります。管理者モードにログインする方法については、「管理者モード」（p. 3-7）を参照してください。

日本語

システム画面

システム画面では、ユーザ設定とプリンタに関する設定を行うことができます。

ユーザ選択（上記画面）

「システム／ユーザ選択」画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
自動コンティニュー	指定されたトレイに正しいサイズの用紙がセットされていないときに、印刷し続けるかどうかを設定します。 設定値：オフ、オン 初期値：オン 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー：ｴﾝｼﾞﾝ / ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ

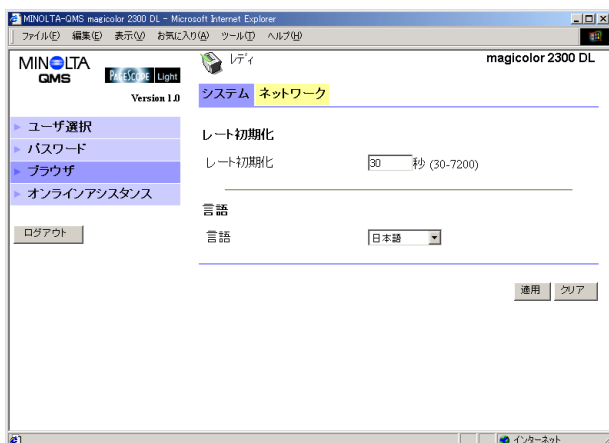
項目	説明
用紙トレイの連結	指定されたトレイの用紙がなくなったときに、他のトレイ（同じサイズ、種類の用紙がセットされているトレイ）に切り替えて印刷を続けるかどうかを設定します。 設定値：オフ、オン 初期値：オン 同機能のプリンタの設定メニュー：ｴﾝｼﾞﾝ / ﾖｳｼﾄﾚｲ ﾉ ﾚﾝｹﾂ この設定は、オプションの給紙ユニット（トレイ 2）が装着されているときのみ有効です。
節電モード	プリントジョブの処理が終了してから節電モードになるまでの待機時間を分単位で設定します。 設定値：15, 30, 60 初期値：30 同機能のプリンタの設定メニュー：ｴﾝｼﾞﾝ / ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ
［ユーザーデフォルトの復旧］ボタン	節電モード、自動コンティニュー、用紙トレイの連結（給紙ユニット装着時）を工場出荷時の初期値に戻します。 同機能のプリンタの設定メニュー：ｴﾝｼﾞﾝ / ｻｰﾋﾞｽ / ﾌｯｷｭｳ ﾕｰｻﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして初期設定に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

パスワード

日本語

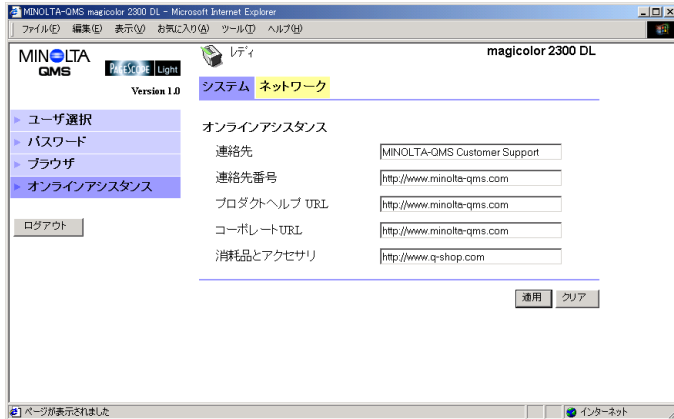
「システム／パスワード」画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
新しいパスワード	管理者モードに入るための新しいパスワードを設定します。 パスワードは 4 文字以内の英数字を入力します。
パスワードの再入力	確認のため、「新しいパスワード」ボックスに入力したパスワードをもう一度入力します。 両方のテキストボックスに入力されたパスワードが異なる場合は、［適用］ボタンをクリックすると「アップデートに失敗しました。」というメッセージが表示されます。 Web ブラウザの［戻る］ボタンをクリックしてから、両方のテキストボックスにパスワードを入力しなおしてください。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして初期設定に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

新しく設定したパスワードを忘れてしまったときは、プリンタの「ｴﾝｼﾞﾝ / ｻｰﾋﾞｽ / ﾌｯｷｭｳ ﾕｰｻﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ」設定メニューでリセットして、パスワードを「1234」に戻してください。（ただし、節電モード、自動コンティニュー、用紙トレイの連結の設定も工場出荷時の初期値に戻ります。）

ブラウザ

「システム／ブラウザ」画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
レート初期化	画面の表示を自動的に更新する間隔（秒）を設定します。画面の更新時には、何か新しい情報やステータスがないかプリンタに確認し、PageScope Light の全項目が更新されます。 範囲：　30 ～ 7200 秒（0.5 ～ 12 分） 初期値：　30 秒 テキストボックスに入力された数値が 30 より小さい場合または 7200 より大きい場合は、［適用］ボタンをクリックすると「アップデートに失敗しました。」というメッセージが表示されます。Web ブラウザの［戻る］ボタンをクリックしてから、適切な数値を入力しなおしてください。
言語	PageScope Light 画面に表示されるテキストの言語を設定します。 設定値：　チェコ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、ポルトガル語、スペイン語 初期値：　英語
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして初期設定に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

オンラインアシスタンス

「システム／オンラインアシスタンス」画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
連絡先	プリンタに関する問い合わせ先の担当者や組織の名前を設定します。 範囲：　63 文字以下 初期値：MINOLTA-QMS Customer Support ※
連絡先番号	プリンタに関する問い合わせ先の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　127 文字以下 初期値：http://www.minolta-qms.com ※
プロダクトヘルプ URL	プリンタの製品情報が載っている Web サイトの URL を設定します。 範囲：　127 文字以下 初期値：http://www.minolta-qms.com ※
コーポレート URL	MINOLTA-QMS の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　127 文字以下 初期値：http://www.minolta-qms.com ※
消耗品とアクセサリ	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　127 文字以下 初期値：http://www.q-shop.com ※
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。

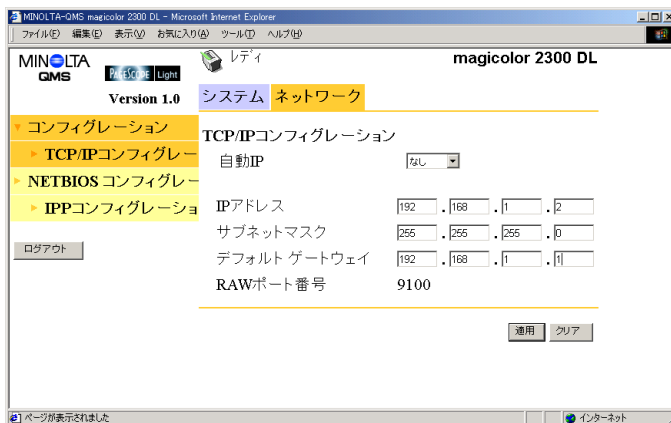
日本語

項目	説明
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして初期設定に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

※ 日本向けの URL は以下のとおりです。

ホームページ：http://www.minolta-qms.co.jp
消耗品：http://www.minolta-qms.co.jp/Store/index.html
お問い合わせ：http://www.minolta-qms.co.jp/Contact/index.html

ネットワーク画面

ネットワーク画面では、TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）と IPP（Internet Printing Protocol）の設定を行うことができます。これらのプロトコルの詳細については、第 5 章「ネットワーク印刷」を参照してください。

コンフィグレーション

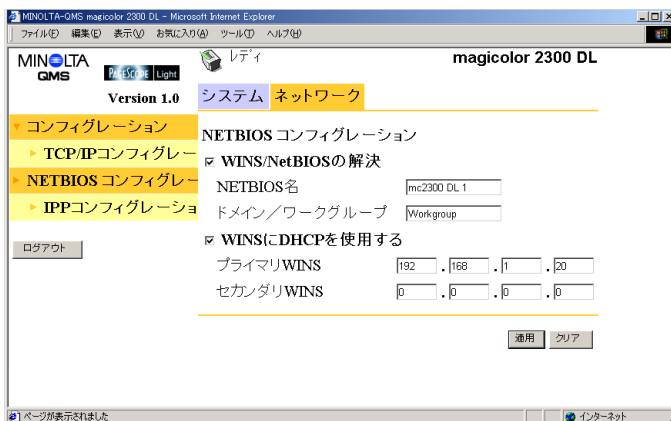
TCP/IP コンフィグレーション

「コンフィグレーション／ TCP/IP コンフィグレーション」画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 5 章「ネットワーク印刷」を参照してください。

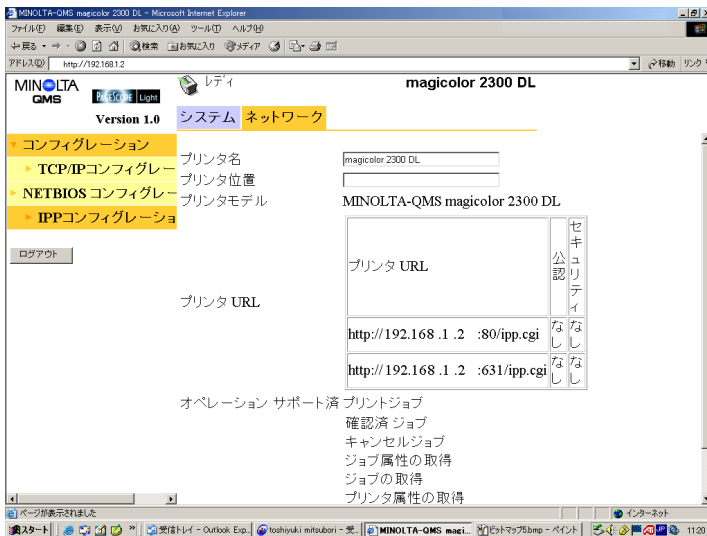
項目	説明
自動 IP	IP アドレスが自動的にプリンタに割り当てられるかどうかを設定します。 設定値： BOOTP、DHCP、なし 初期値： DHCP 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー：ﾈｯﾄﾜｰｸ / DHCP BOOTP
IP アドレス *	プリンタの IP アドレスを設定します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値： 192.168.1.2 範囲外の数値の IP アドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックすると「アップデートに失敗しました。」というメッセージが表示されます。Web ブラウザの［戻る］ボタンをクリックしてから、適切な数値を入力しなおしてください。 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー：ﾈｯﾄﾜｰｸ / IP ｱﾄﾞﾚｽ
サブネットマスク *	プリンタのサブネットマスクアドレスを設定します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値： 0.0.0.0 範囲外の数値のサブネットマスクアドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックすると「アップデートに失敗しました。」というメッセージが表示されます。Web ブラウザの［戻る］ボタンをクリックしてから、適切な数値を入力しなおしてください。 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー：ﾈｯﾄﾜｰｸ / ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
デフォルト ゲートウェイ *	ネットワークでルータを使用している場合は、ルータのアドレスを設定します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値： 192.168.1.1 範囲外の数値のルータのアドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックすると「アップデートに失敗しました。」というメッセージが表示されます。Web ブラウザの［戻る］ボタンをクリックしてから、適切な数値を入力しなおしてください。 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー：ﾈｯﾄﾜｰｸ / ｹﾞｰﾄｳｪｲ

日本語

項目	説明
RAW ポート番号	プリンタの TCP/IP ポートの RAW ポート番号が表示されます。 設定値：設定不可 初期値：9100
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして初期設定に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

NETBIOS コンフィグレーション

「コンフィグレーション／ NETBIOS コンフィグレーション」画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
WINS/NETBIOS の解決	チェックすると、WINS、NETBIOS を使用した名前の解決を行います。 NETBIOS 名、ドメイン／ワークグループ、プライマリ WINS を設定してください。
NETBIOS 名	15 文字以内のアルファベットと数字で記載します。スペースを含めることはできません。
ドメイン／ワークグループ	mc2300DL の所属するドメイン名、ワークグループ名を入力します。
WINS に DHCP を使用する	チェックすると DHCP サーバーから WINS サーバーからアドレス設定を受け取ります。その場合は、プライマリ WINS、セカンダリ WINS の設定は無効になります。
プライマリ WINS	WINS サーバーのアドレスを設定します。
セカンダリ WINS	

日本語

IPP コンフィグレーション

「コンフィグレーション／ IPP コンフィグレーション」画面では以下の項目を設定できます。IPP の詳細については、第 5 章「ネットワーク印刷」を参照してください。

項目	説明
プリンタ名	プリンタ名を設定します。 範囲：　127 文字以下 初期値：　magicolor 2300 DL
プリンタ位置	プリンタが設置してある場所を入力します。 範囲：　127 文字以下 初期値：　（空白）
プリンタモデル	プリンタのメーカー名とモデル名が表示されます。 設定値：　設定不可 初期値：　MINOLTA-QMS magicolor 2300 DL
プリンタ URL	プリンタの URL、公認、セキュリティが表示されます。 範囲：　設定不可 初期値：　http://192.168.1.2:80/ipp.cgi、なし、なし http://192.128.1.2:631/ipp.cgi、なし、なし
オペレーション サポート済	プリンタで利用可能なオペレーションが表示されます。 設定値：　設定不可 初期値：　プリントジョブ、確認済ジョブ、キャンセルジョブ、ジョブ属性の取得、ジョブの取得、プリンタ属性の取得

項目	説明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして初期設定に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

4
ネットワークプリンタポート

はじめに

Microsoft プリントモニタが提供しているプリンタポート、または Utilities and Documentation CD-ROM 内にあるプリンタに付属の magicolor TCP/IP ポートのどちらを使用するかはお使いの Windows 環境によって決まります。

日本語

インストール時の注意

Windows XP

ネットワーク上にプリンタを接続するときには、Microsoft が提供している Standard TCP/IP Port を使用し、デバイスタイプとしては「Generic」または「Minolta Network Printer」を選択します。

Windows 2000

ネットワーク上にプリンタを接続するときには、Microsoft が提供している Standard TCP/IP Port を使用し、デバイスタイプとしては「Generic」または「Minolta Network Printer」を選択します。

Windows Me/98/95

ネットワーク上にプリンタを接続するときには、magicolor TCP/IP ポートを使用します。
Windows Me/98/95 では付属のプリントモニタを使用します。

Windows NT 4.0

ネットワーク上にプリンタを接続するときには、Microsoft が提供している LPR ポートを使用します。最初のテキストボックスにはプリンタの IP アドレスを、2 番目のテキストボックスには LP を入力してください。

Crown プリントモニタを併用する場合の注意

Crown プリントモニタは、magicolor 2300 DL では使用できません。magicolor 2300 DL 用にネットワークプリンタポートを設定した後に、MINOLTA-QMS プリンタ用 Crown プリントモニタ（バージョン 2.0.14 以前）をインストールした場合は、印刷を行う前にコンピュータを再起動する必要があります。

日本語

ネットワーク印刷

はじめに

magicolor 2300 DL は、以下のネットワークプロトコルに対応しています。

- BOOTP
- DHCP
- HTTP
- IPP
- LPD/LPR
- SLP
- SNMP
- TCP/IP

本章では、これらの各プロトコルの用語説明と IPP 印刷の方法について説明します。

BOOTP

BOOTP（Bootstrap Protocol）は、ディスクレスワークステーションが、自己の IP アドレス、ネットワーク上の BOOTP サーバの IP アドレス、起動するためにメモリにロードするファイルを取得できるようにするインターネットプロトコルです。BOOTP により、ワークステーションは、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブがなくても起動できるようになります。

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）は、動的 IP アドレスをネットワーク上のデバイスに割り当てるプロトコルです。動的 IP アドレスを使用するため、デバイスはネットワークに接続するたびに異なる IP アドレスを取得することもあります。システムによっては、デバイスがネットワークに接続され続けていても IP アドレスが途中で変わることもあります。また、DHCP は固定 IP アドレスと動的 IP アドレスの両方が存在する環境にも対応しています。動的アドレスを使用すると、ソフトウェアが IP アドレスの情報を把握するため、ネットワーク管理者が IP アドレスの管理を行うよりも、ネットワーク管理が簡単になります。例えば、固有の IP アドレスを手動で割り当てる手間をかけずに、新しいコンピュータをネットワークに追加することができます。

HTTP

HTTP（HyperText Transfer Protocol）は、ワールドワイドウェブ（WWW）で使用されている基礎となるプロトコルです。HTTP では、メッセージの書式、送信方法や、各種コマンドに対する Web サーバとブラウザの動作が規定されています。例えば、ブラウザで URL を入力すると、実際には、要求した Web ページの取得と送信を指示する HTTP コマンドがその Web サーバに送られます。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol）は、インターネット経由での印刷を行うプロトコルです。IPP により、ユーザは、プリンタの機能の確認、プリンタへのプリントジョブの送信、プリンタやプリントジョブの状況確認、送信済みのプリントジョブのキャンセルが可能です。

IPP の使用方法についての詳細は、「IPP（Internet Printing Protocol）印刷」（p. 5-5）を参照してください。

LPD/LPR

LPD/LPR（Line Printer Daemon/Line Printer Request）は、TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。もともと BSD UNIX 用に開発されましたが、一般のコンピュータでも使用されるようになり、今では業界標準となっています。

SLP

SLP（Service Location Protocol）は、いくつかのネットワークサービスを自動化することにより、プリンタなどのネットワークリソースの確認、利用を簡単に行うプロトコルです。

従来は、ネットワーク上のサービスの場所を確認するためには、利用したいサービスを提供しているコンピュータのホスト名やネットワークアドレスをユーザが入力する必要がありました。そのために多くの管理上の問題が発生しました。

ところが、SLP を使用して、いくつかのネットワークサービスを自動化することにより、プリンタなどのネットワークリソースを簡単に確認、利用できるようになりました。

SLP のユーザはネットワークのホスト名を把握しておく必要がなくなり、代わりに、利用したいサービスの内容のみを知っておくだけでよくなりました。さらに、SLP は利用したいサービスの URL を返すこともできます。

SLP の使用はソフトウェアの開発者にも利点があります。多くの場合、SLP を使用すると、ソフトウェア上でユーザにホスト名を入力するように指示したり、設定ファイルからホスト名を読み出したりする必要がなくなります。

ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト

SLP はユニキャストとマルチキャストに対応したプロトコルです。つまり、メッセージは一度に 1 エージェントに送信されるか（ユニキャスト）、受信可能な全エージェントに同時に送信されます（マルチキャスト）。ただし、マルチキャストはブロードキャストとは異なります。理論上は、ブロードキャストメッセージはネットワーク上のすべてのノード（機器）に届きます。マルチキャストメッセージはマルチキャストグループに入っているノード（機器）にしか届かないという点で、ブロードキャストとは異なります。

明らかなことですが、ネットワーク上のルータでは、ほとんどすべてのブロードキャストデータが通過します。そのため、サブネット上から発信されたブロードキャストは通信経路が示されないか、またはそのルータに接続された他のどのサブネットにも転送されません（ルータ側から見ると、1 つのサブネットは、ルータのポートに接続されたすべてのコンピュータになります）。

これに対し、マルチキャストはルータによって転送されます。あるグループから発信されたマルチキャストのデータは、そのグループ用のマルチキャストデータを受信可能なコンピュータが 1 台以上あるサブネットすべてに、ルータから転送されます。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）は、実際には、複雑なネットワークを管理するプロトコルの集合です。SNMP は、ネットワークのいろいろな場所にメッセージを送信して動作します。SNMP 対応のデバイス（エージェントと呼ばれます）は、そのデバイスに関するデータを MIB（Management Information Bases）に記録し、そのデータを SNMP リクエスタに返します。

TCP/IP

ほとんどのネットワークでは、TCP（Transmission Control Protocol）を、下位レベルのプロトコルである IP（Internet Protocol）と組み合わせて使用します。TCP は 2 つのホストシステムの仮想接続を行い、システム間のデータの配信を保証します。そのとき IP はそれら 2 つのホストシステム間で送信されるデータの形式とアドレス指定方法を規定します。

IPP（Internet Printing Protocol）印刷

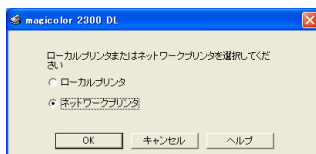
Windows XP/2000

IPP ポートの追加

Windows XP/2000 で IPP ポートを追加する方法は 2 つあります。
“ SETUP.EXE ” を使用する方法と、プリンタの追加ウィザードを使用する方法です。

“ SETUP.EXE ” を使用する場合

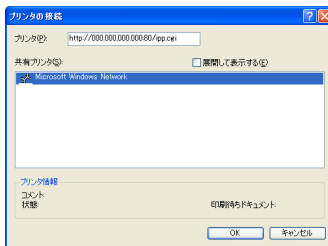
自動インストールプログラムから自動的に “ SETUP.EXE ” にアクセスするか、“ SETUP.EXE ” ファイルを表示してダブルクリックします。自動インストールプログラムと “ SETUP.EXE ” ファイルは、両方とも Utilities and Documentation CD-ROM に入っています。（特に示していない場合、ダイアログの画面は Windows XP の画面を使用しています。）

1 2 番目に表示されるダイアログで「ネットワークプリンタ」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

2 次に表示されるダイアログで、「プリンタ」テキストボックスに以下のいずれかの形式でプリンタのネットワークパス名を入力し、［OK］をクリックします。

- http://IP アドレス :80/ipp.cgi
- http://IP アドレス :631/ipp.cgi

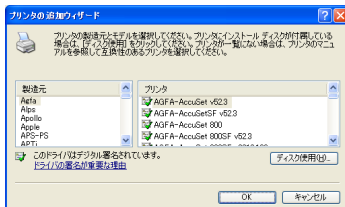
無効となるパス名を入力した場合は、以下のエラーメッセージが表示されます
（Windows OS によってメッセージが異なります）。

- Windows XP：「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報を参照するには、［ヘルプ］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。［OK］をクリックして前のダイアログに戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。
- Windows 2000：「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報については［ヘルプ］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。［OK］をクリックして前のダイアログに戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。

日本語

3 Windows XP の場合：手順 4 にすすんでください。

Windows 2000 の場合：手順 2 で有効なパス名を入力すると、「'Minolta-QMS magicolor 2300DL' プリンタが接続されているサーバーに正しいプリンタドライバがインストールされていません。ローカルコンピュータにドライバをインストールする場合は［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。これはプリンタドライバがまだインストールされていないためです。［OK］をクリックします。

4 手順 2 で有効なパス名を入力すると、このダイアログが表示されます。

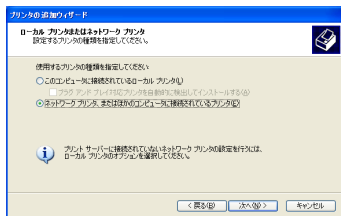
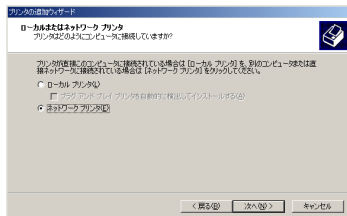
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ（例：DRIVERS\JAPANESE）を指定し、［OK］をクリックします。

5 プリンタドライバのインストールを完了します。

プリンタの追加ウィザードを使用する場合

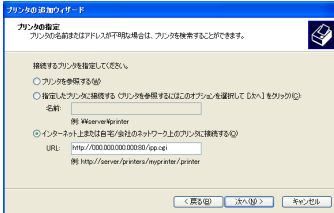
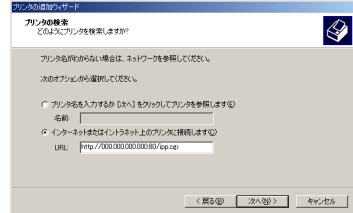
■ Windows XP の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。

■ Windows 2000 の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「設定」から「プリンタ」を選択します。次に「プリンタの追加」をクリックします。

1 2 番目に表示されるダイアログで「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」（Windows XP の場合）、または「ネットワーク プリンタ」（Windows 2000 の場合）を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows XP

Windows 2000

2 次に表示されるダイアログで、「URL」に以下のいずれかの形式でプリンタのネットワークパス名を入力し、［次へ］をクリックします。

- http://IP アドレス :80/ipp.cgi
- http://IP アドレス :631/ipp.cgi

Windows XP

Windows 2000

Windows 2000 の場合：プリンタの電源がオフになっている場合、または使用できない状態の場合は、「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報については［ヘルプ］をクリックしてください。」というエラーメッセージが表示されます。［OK］をクリックして前のダイアログに戻り、プリンタの電源をオンにして、有効なパス名を入力しなおしてください。

3 Windows XP の場合：手順 4 にすすんでください。

Windows 2000 の場合：プリンタが使用可能な状態の場合、「'Minolta-QMS magicolor 2300DL' プリンタが接続されているサーバーに正しいプリンタドライバがインストールされていません。ローカルコンピュータにドライバをインストールする場合は［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。これはプリンタドライバがまだインストールされていないためです。［OK］をクリックします。

4 プリンタドライバのインストールを完了します。

索引

S

T

U

W

あ

い

お

か

け

こ

さ